

朝明中学校通信 第 20 号	和 学 鍛	令和 2 年 2 月 10 日 発行：朝明中学校長
---------------------------------	--------------	------------------------------

「暖冬」といわれたこの冬も、例年よりおくれて2月になってから寒さの底がやってきました。立春を過ぎても、まだまだ「春浅し」といったところでしょうか。

学校では、3年生は私立高校や県立の前期選抜試験を終え、いよいよ進路が具体的に见えてくるようになりました。そして、2月10日には学習発表会で各学年のこれまでの地域学習の成果を発表する1年のまとめの時期がやってきました。

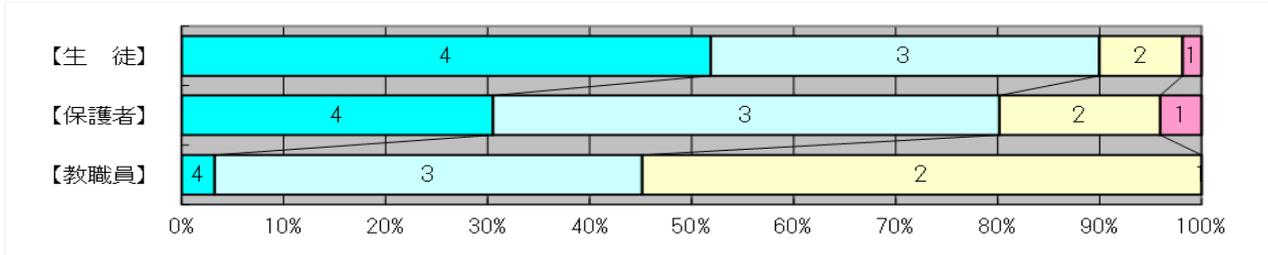


学校教育診断結果について その2

前回に引き続き、昨年12月に実施しました学校教育診断の集計結果について報告しますが、とくに診断内容の中で「充実した学校生活②」の「あいさつ」の項が最も低い値を示しましたので、この機会にちょっと考えてみたいと思います。

積極的にあいさつをしよう！

【生徒】	学校や地域で、自分からあいさつをしている。
【保護者】	生徒は、学校や地域で自分からあいさつをしていると思う。
【教職員】	生徒は、学校や地域で自分からあいさつをすることができる。



グラフをみてもわかるように、生徒の自己評価は意外にも高いのですが、生徒と教職員の差も大きいようです。

ところで、生徒の皆さんは、一日の朝、最初に家族に会ったときに、「おはよう」の言葉を交わしていますか？家を出るときに「いってきます」と言ってでかけていますか？家に帰ったら「ただいま」、寝るときには「おやすみ」の言葉を口にしていますか？最近では、家庭での食事のときもスマホ片手に食卓も見ないで無言で口を動かしているなどという風景もテレビなどで取りざたされていることがあります。寂しい限りです。

よく、「相手がしないのに、こちらから先にするのは・・・」という人がいます。今回の学校教育診断の質問は、「自分からあいさつをしている（することができる）」なのです。

「相手がすれば」ではなく、この「自分から」が何より大切です。いつでも先手を打って自分から先にやる。また、昔から人間関係や地位の上下に関係なく徳の高い人ほど先にあいさつをされると言われています。あいさつは漢字で「挨拶」と書きます。本来の意味は「挨拶」は「心を押しひらく」、「拶」は「相手にせまる」という意味があるそうです。

だから、あいさつは「心をひらいて相手に迫る」、つまり、相手がするから、こちらがするという受け身ではなく、本来はもっと自発的で積極的なものであるはずです。

あいさつは **い**つでも **さ**きに **つ**たえたい

今、生徒会でもこのことを取り上げて全校生徒にあいさつについてのアンケートを取りました。(結果は近日中に「生徒会だより」で報告)この取り組みは継続していくそうです。また、毎週月曜日の朝は生徒会があいさつ運動をしています。月に一度は地域の方も加わって、積極的に声掛けをしてくれています。どうか、生徒のみなさんもそれに応えてほしいと思います、もちろん、中には先に大きな声であいさつしてくれる人もいますが、中には目を合わさず恥ずかし気にあいさつする人やあいさつに応えてくれない人がいることも事実です。

あいさつは人間関係をよりよくするための基本中の基本、コミュニケーションの源、エチケット、礼儀、社会生活の潤滑油です。だれにでも気さくにあいさつができる人もいれば、他人に気軽に話しかけるのが苦手な人もいるでしょう。ちょっと勇気がいるのかな?でも、せめて友だち同士や家族、先生など知っている間なら積極的にしたいものですね。

その他、「意見・要望」の続きです。

- ・保護者にも携帯、SNSの講演会をしてほしい。
- ・自転車通学のマナーが依然として改善されていない。
- ・自転車通学範囲を広げてほしい。

との要望が複数あります。自転車通学地区の見直しは難しいため、各教科の学校に置いておける教材の見直しや通学バックの見直しに次年度も取り組みたいと思います。また、携帯、SNSの講演会への保護者の参加の呼びかけ、交通マナーの指導については引き続き力を入れていきます。その他にも、いただいた意見については、今後の取り組みの中で、真摯に受け止め、見直すべきところがあれば検討していきます。

生徒からの要望で最も多かった「教室のエアコン設置」については、すでに設置完了し、試運転を待つ段階です。また、「本館と新館の渡り廊下・室内の昇降口・体育館階段の段差」の改修・設置については、来年度の大規模改修で行います。

その他、いただいた意見についても、今後の取り組みの中で、真摯に受け止め、見直すべきところがあれば検討して、一層の改善や情報発信に努めてまいります。

学校公開週間

2月3日(月)から7日(金)までの1週間は「朝明中学校公開週間」でした。

5日間で30名近い地域や保護者の方々にご来校いただき、日頃の学習風景や学校の様子をそのまま見ていただきました。



「校舎内がとてもきれいに清掃されている」「教室の掲示物がきれいに張られている」「生徒の荷物が整頓されて静かな中で授業が行われている」「小学校よりも早いスピードでノートをとっている姿が成長を感じさせる」「落ち着いた雰囲気で行われており、勉強に集中できる環境を整えている」などのご感想が寄せられました。お忙しい中、また、寒い中をご来校いただき、本当にありがとうございました。

速報! 1年生大会 男子バスケ準優勝 男子バレー3位

2月9日(日)に行われた三泗地区1年生大会で、見事男子バスケは準優勝、また、男子バレーは3位というすばらしい結果を収めてくれました。これからが楽しみです。

朝明中学校通信 第 20 号	和 学 鍛	令和 2 年 2 月 10 日 発行：朝明中学校長
---------------------------------	--------------	------------------------------

「暖冬」といわれたこの冬も、例年よりおくれて2月になってから寒さの底がやってきました。立春を過ぎても、まだまだ「春浅し」といったところでしょうか。

学校では、3年生は私立高校や県立の前期選抜試験を終え、いよいよ進路が具体的に見えてくるようになりました。そして、2月10日には学習発表会で各学年のこれまでの地域学習の成果を発表する1年のまとめの時期がやってきました。

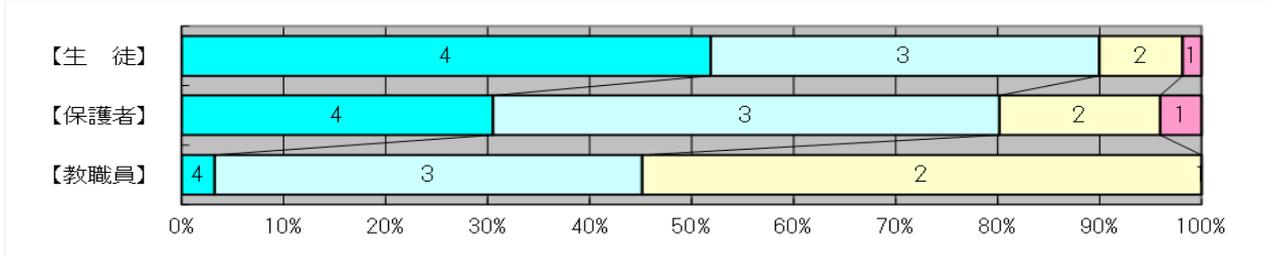


学校教育診断結果について その2

前回に引き続き、昨年12月に実施しました学校教育診断の集計結果について報告しますが、とくに診断内容の中で「充実した学校生活②」の「あいさつ」の項が最も低い値を示しましたので、この機会にちょっと考えてみたいと思います。

積極的にあいさつをしよう！

【生徒】	学校や地域で、自分からあいさつをしている。
【保護者】	生徒は、学校や地域で自分からあいさつをしていると思う。
【教職員】	生徒は、学校や地域で自分からあいさつをすることができる。



グラフをみてもわかるように、生徒の自己評価は意外にも高いのですが、生徒と教職員の差も大きいようです。

ところで、生徒の皆さんは、一日の朝、最初に家族に会ったときに、「おはよう」の言葉を交わしていますか？家を出るときに「行ってきます」と言ってでかけていますか？家に帰ったら「ただいま」、寝るときには「おやすみ」の言葉を口にしていますか？最近では、家庭での食事のときもスマホ片手に食卓も見ないで無言で口を動かしているなどという風景もテレビなどで取りざたされていることがあります。寂しい限りです。

よく、「相手がしないのに、こちらから先にするのは・・・」という人がいます。今回の学校教育診断の質問は、「自分からあいさつをしている（することができる）」なのです。

「相手がすれば」ではなく、この「自分から」が何より大切です。いつでも先手を打って自分から先にやる。また、昔から人間関係や地位の上下に関係なく徳の高い人ほど先にあいさつをされると言われています。あいさつは漢字で「挨拶」と書きます。本来の意味は「挨拶」は「心を押しひらく」、「拶」は「相手にせまる」という意味があるそうです。

だから、あいさつは「心をひらいて相手に迫る」、つまり、相手がするから、こちらがするという受け身ではなく、本来はもっと自発的で積極的なものであるはずです。

あいさつは **い**つでも **さ**きに **つ**たえたい

今、生徒会でもこのことを取り上げて全校生徒にあいさつについてのアンケートを取りました。(結果は近日中に「生徒会だより」で報告)この取り組みは継続していくそうです。また、毎週月曜日の朝は生徒会があいさつ運動をしています。月に一度は地域の方も加わって、積極的に声掛けをしてくれています。どうか、生徒のみなさんもそれに応えてほしいと思います、もちろん、中には先に大きな声であいさつしてくれる人もいますが、中には目を合わさず恥ずかし気にあいさつする人やあいさつに応えてくれない人がいることも事実です。

あいさつは人間関係をよりよくするための基本中の基本、コミュニケーションの源、エチケット、礼儀、社会生活の潤滑油です。だれにでも気さくにあいさつができる人もいれば、他人に気軽に話しかけるのが苦手な人もいるでしょう。ちょっと勇気がいるのかな?でも、せめて友だち同士や家族、先生など知っている間なら積極的にしたいものですね。

その他、「意見・要望」の続きです。

- ・保護者にも携帯、SNSの講演会をしてほしい。
- ・自転車通学のマナーが依然として改善されていない。
- ・自転車通学範囲を広げてほしい。

との要望が複数あります。自転車通学地区の見直しは難しいため、各教科の学校に置いておける教材の見直しや通学バックの見直しに次年度も取り組みたいと思います。また、携帯、SNSの講演会への保護者の参加の呼びかけ、交通マナーの指導については引き続き力を入れていきます。その他にも、いただいた意見については、今後の取り組みの中で、真摯に受け止め、見直すべきところがあれば検討していきます。

生徒からの要望で最も多かった「教室のエアコン設置」については、すでに設置完了し、試運転を待つ段階です。また、「本館と新館の渡り廊下・室内の昇降口・体育館階段の段差」の改修・設置については、来年度の大規模改修で行います。

その他、いただいた意見についても、今後の取り組みの中で、真摯に受け止め、見直すべきところがあれば検討して、一層の改善や情報発信に努めてまいります。

学校公開週間

2月3日(月)から7日(金)までの1週間は「朝明中学校公開週間」でした。

5日間で30名近い地域や保護者の方々にご来校いただき、日頃の学習風景や学校の様子をそのまま見ていただきました。



「校舎内がとてもきれいに清掃されている」「教室の掲示物がきれいに張られている」「生徒の荷物が整頓されて静かな中で授業が行われている」「小学校よりも早いスピードでノートをとっている姿が成長を感じさせる」「落ち着いた雰囲気の中で授業が行われており、勉強に集中できる環境を整えている」などのご感想が寄せられました。お忙しい中、また、寒い中をご来校いただき、本当にありがとうございました。

速報! 1年生大会 男子バスケ準優勝 男子バレー3位

2月9日(日)に行われた三泗地区1年生大会で、見事男子バスケは準優勝、また、男子バレーは3位というすばらしい結果を収めてくれました。これからが楽しみです。